

様式 1

労務・安全衛生管理事項 引受確約書

- (様式 1-1) 安全衛生・労務状況報告書
- (様式 1-2) 労働基準監督署提出書類報告書〔社内様式〕
- (様式 1-3) 安全帯使用の確約書〔社内様式〕
- (様式 1-4) 脚立単独使用時の確約書〔社内様式〕

労務・安全衛生管理事項引受確約書

平成 年 月 日

会社名 _____

作業所名称 _____ 工事

作業所長 _____ 殿

住 所 _____

会 社 名 _____

代表者名 _____ (印)

電話番号 _____

貴社発注の工事施工に当たり、労働者を使用するに際しては、工事下請契約約款第4条、第7条に基づき、労働基準法その他関係法規に定められた使用者（事業者）としてのすべての義務を遂行するとともに貴社の定めた諸規則並びに貴社の指示に従います。特に下記事項を確認の上、これを忠実に遵守することを誓約いたします。

記

1. 現場代理人（安全衛生責任者）を専任し、それぞれに安全衛生に関する措置をなしうる権限をあたえ各々の任務を明確に指示して現場に常駐させます。又、作業主任者、及び作業指揮者等を専任してその氏名を取りまとめて貴社に届け出ます。
2. 安全衛生責任者には、次の事項を確実に行わせます。
 - (1) 雇用時の新規入場者の安全・衛生教育の実施
 - (2) 再請負業者を含め、指揮命令系統の確立
 - (3) 各作業間の連絡調整への参加及びその実施
 - (4) 安全会議の確実な実施
 - (5) 不安全行動の排除
 - (6) 作業を指揮する者(作業主任者・作業指揮者・又は作業責任者)の次の職務の実施に対する確実な監督
 - ① 作業の環境・施設・設備・工具及び材料等の点検
 - ② 作業手順の設定と作業員に対する周知
 - ③ 当日作業での危険予知活動の周知及びヒヤリハット提案活動の推進
 - ④ 当日作業の監視及び作業の直接指揮
 - (7) その他安全・衛生の確保に必要な措置
3. 法令に基づく事業者としての諸届をいたします。
4. 安全衛生教育計画を作成し、実施いたします。
5. 法令に基づく健康診断を実施し、必要な処置を行います。
6. 契約に基づく仕事の作業計画（作業の方法及び順序、労務計画、危害防止対策事項）を立案し、所長の承認を得て作業を実施いたします。

7. 契約に基づく仕事に必要な有資格者を確保し、配置します。
8. 再請負業者に対する安全衛生管理の指導を行います。
9. 作業に適した服装を着用させ、保安帽、安全帯、その他必要な保護具は、当方責任において整備し、作業員に使用させます。
10. 当方持込の機械器具・車両については、法令で定められた構造規格を保持し、安全性を確認したものを使用します。又、持込時には点検表を提出し、貴社の確認を受けます。
11. 持込の機械器具・車両はともより貴社貸与の機械器具等についても、使用中は貴社で定める点検表による日常及び定期の点検・整備を実施します。
12. 女子・年少者・外国人については法令で定める就業制限を確実に守ります。
13. 作業所内の安全衛生に関して、貴社又は監督官庁より改善・是正の指示を受けた時は、速やかに改善・是正を行い、所長にその結果を報告します。
14. 労災保険法の適用を受けていない 事業主及び一人親方等が当工事に従事するときは その確認を事前に行い、労災保険の特別加入を行う様指導をいたします。尚、労災保険の適用を受けている労働者についても、建設労災補償共済、もしくは生命保険等の災害補償の制度に加入する様に指導をいたします。
15. 万一、災害が発生したとき、又は第三者に危害を与えたときは、労働基準法第87条第2項に定める事業主としての責任を負うとともに、その処置、解決に最善の努力をいたします。尚、その災害の発生が当方の責による時は、貴社の定める措置に従います。
16. 貴社より休息所・事務所・トイレ・宿舍等を借用する場合、次の事を遵守します。
 - (1) 管理責任者を専任し、その氏名を掲示すると同時に報告をします。
 - (2) 管理については当方ですべての責任を負います。
 - (3) 寄宿舍を使用する場合は寄宿舍規定を掲示し、その遵守を徹底させます。
 - (4) 宿舍労働者ならびにその移動はその都度貴社に報告します。
 - (5) 貴社の許可なく当工事に従事する者以外は寄宿させません。
 - (6) 借用物件は常にその内外の清潔・清掃につとめます。
17. 作業所内の火気使用の場合は所長に「火気使用願」を提出し、許可を得てから使用します。尚、火気の後始末は当方の責任で行います。
18. その他安全、衛生に関し、事業主として行うべき必要な措置を講じます。

以 上

安全衛生・労務状況報告書

会社名 _____

作業所名称 _____ 工事

作業所長 _____ 殿

(関係請負人)

会社名 _____

所在地 _____

代表者氏名 _____ ㊟

募 集	主たる募集方法	1 職業安定所 2 縁故 3 その他
	主たる募集地	
集	労働条件の明示	1 雇入通知書 2 労働契約書
	労働者名簿	1 有 (設置場所 イ本店 ロ現場) 2 無
就 業	就業規則の制定	1 有 (昭和 年 月 日 労基署届出済) 2 無
	就 労 の 把 握	1 作業日報 2 その他
賃 金	賃 金 台 帳	1 有 (設置場所 イ本店 ロ現場) 2 無
	締 切 ・ 支 払 日	締切日毎月 日 支払日 日
	支 払 の 方 法	1 作業員に直接支払い 2 その他()
	過去における賃金不払	1 有 2 無
健 康 保 険	雇用時健康診断	1 実施 2 未実施
	定期健康診断	1 実施 (年 月) 2 未実施
	特殊健康診断	種 類
実 施		1 実施 (年 月) 2 未実施
社 会 保 険	雇 用 保 険	1 加入 (人) 2 未加入
	健 康 保 険	1 加入 種類 (イ 土建保険 ロ 政府管掌 ハ その他)
		人数 (人) 2 未加入
厚 生 年 金 保 険	1 加入 (人) 2 未加入	

各 種 加 入 状 況	労働基準協会	1 加入 2 未加入				
	安全運転管理者協会	1 加入 2 未加入				
	労働災害保障保険等	1 加入 (番号) 2 未加入				
	建設業退職金共済組合	1 加入 (番号) 2 未加入				
労 災	過去5年間における	死亡	1 有 (人) 2 無			
	業務上の重大災害	障害1~3級	1 有 (人) 2 無			
安 全 衛 生 教 育	雇 入 時 ・ 作 業 内 容 変 更 時 の 教 育			特 別 教 育	課 長 教 育	
	実施時期	1 その都度 2 一定期間ごと (月 回)		1 元請の講習に参加 加 2 建災防等他の団 体の講習に参加 3 自社独自に実施 この場合、過去に 実施した種類。 ()	1 元請の講習に参加 加 2 建災防等他の団 体の講習に参加 3 自社独自に実施	
	教 材	(該当欄に○印を入れて下さい)	安全のしおり			映画・スライ ド等
			又はテキスト			
			当社建設の物			
			自社独自の物			
市販の物						
その他						
実施場所	1 本支店 2 現場					

当現場の従業員を被保険者とする労災上積み保険

	1 加入 (下記の通り) 2 未加入
保 険 会 社 名	
対 象 被 保 険 者	
保 險 金	(死亡時 万円) (後遺症 万円)

チェック及び指導者	(氏名) _____ ㊟
-----------	--------------

平成 年 月 日

会社名 _____
 作業所名称 _____ 工事
 作業所長 _____ 殿

(関係請負人)

会社名 _____
 所在地 _____
 代表者氏名 _____ (印)

労働基準監督署提出書類報告書

当社所轄の労働基準監督署に必要書類を届出し、下記のとおり備付けておりますので、写を提出し報告致します。

記

届 出 書 類 名	届 出 年 月 日	原 本 備 付 場 所
1. 適用事業報告書	年 月 日	
2. 時間外・休日労働に関する協定届	年 月 日	
3. 就業規則	年 月 日	
4. 安全衛生推進者等の選任報告	年 月 日	
5. 衛生管理者・産業医の選任報告	年 月 日	
6. 監視、断続的労働に従事する者に対する適用除外許可書	年 月 日	
7. 寄宿舍設置及び規則届	年 月 日	

註) 空欄にはその他提出を義務づけられた書類を提出した時に記入してください。

平成 年 月 日

会 社 名
作 業 所 名 称 工事
作 業 所 長 殿

(1 次)

会 社 名
代 表 者 名 ⑩
現 場 代 理 人 ⑩

(次)

使 用 会 社 名
代 表 者 名 ⑩
職 長 名 ⑩
職 長 名 ⑩

期間：工事着手から完成引渡まで。

安全帯使用の確約書

今般受注しました当工事の施工に、労働安全衛生法、労働安全衛生規則、貴社の安全基準および貴社の指導により墜落・転落災害防止の措置を要する高所等の作業は、作業員全員が常時安全帯を着装し、使用することを当社及び当工事に従事する会社事業者と職長の連名で確約いたします。

脚立単独使用時の確約書

今般ご発注いただきました工事の施工に際し、作業中の脚立からの転落災害防止を図るため、安衛則第528条に基づく構造の脚立を使用（基本的に6尺以下の脚立）し、貴社のご指導のも別紙のような脚立単独作業厳守事項を守り、作業方法を考慮し、安全基準にもとづいた作業を心掛けるよう、当社配下の労働者全員に指導徹底し、転落災害防止に万全を期する事を、事業主・職長の連名にて確約いたします。

作業の都合上、どうしても9尺脚立を使用する場合には、作業の種類・施工方法・作業手順・安全性等について十分に協議し、作業に入るように指導いたします。

また、再下請を使用した場合にも同様の確約書を提出します。

事業主 _____ (印)

職 長 _____ (印)

職 長 _____ (印)

職 長 _____ (印)

統括安全衛生責任者

_____ 殿

『脚立単独作業・厳守事項』

- ① 使用前に脚立の点検を行う。
- ② 足元が軟弱・傾斜の場合は敷板を敷くか、水平に安定した形で使用する。
- ③ 足場上では脚立は使用しない。(杵組足場、ローリング足場、単管足場、他)
- ④ 脚立の天板上では作業しない。
※ やむを得ず天板上で作業する場合には、命綱を使用し転落防止に努める。
- ⑤ 床開口端部の廻りでは使用しない。
※ やむを得ず、作業する場合は、開口部に堅固な物で蓋をするかネットを張る。
- ⑥ 開き止め金具を開き、『脚と床面が75° 以上』開かない様確認する。
- ⑦ 足底が濡れた靴では、昇り降りをしてしない。
- ⑧ 脚立を昇り降りをする場合は、『踏板に足を確実に掛けゆっくり昇り、手に物を持って』昇降しない
- ⑨ 脚立から降りる場合は、一段ずつゆっくり降りる。『絶対飛び降りない』
- ⑩ 脚立上で力を入れる作業・および腰作業はしない。
※ やむを得ず上記で作業する場合には、命綱を使用し転落防止に努める。
- ⑪ 脚立を壁に立て掛け作業をしてしない。
- ⑫ 脚立をまたがり真上で作業をしてしない。
- ⑬ 作業上、やむを得ず『9尺脚立』を使用した足踏み部が2 m以上の作業となる場合は、命綱を使用し転落防止に努める。
- ⑭ 上記以外『危険と思われる作業』では、脚立を使用しない。
- ⑮ 各自『持ち込み脚立』の場合、下記の脚立は持ち込み使用しない。
 - ・ 脚下端に滑り止めのない物。
 - ・ 踏面の巾が5 cm未満及び踏面上端が滑り止めのない物。
 - ・ 開き止め金具がない物、または壊れている物。
 - ・ 天板の巾が1 0 cm× 3 0 cm以下の物。
 - ・ 脚立に損傷のある物。(脚の曲がり、踏み面の潰れ、溶接箇所の亀裂等)
- ⑯ 作業終了後は指定された場所に片付ける。